

2018年9月1日

長野県縦断駅伝競走
チーム連絡担当者 各位

県縦断駅伝大会事務局

「第67回長野県縦断駅伝競走大会」の提出書類一式および提出方法は下記の通りです。
複数枚が必要となる書類はコピーをしてください。

【申込書類一覧】

1. 参加申込書
2. オーダー提出用紙(第1日目用・第2日目用)
3. ふるさと制度申請書
4. 競技者変更届
5. オーダー変更届(第1日目用・第2日目用)
6. 誓約書(大学生・一般用)
7. 中高生の学校長への上場承認願の写し
8. 中高生の保護者承諾書
9. 男女10・20・30・40回及び女子5回出場競技者申請書
10. 競技者・付添者輸送バスチェックリスト(第1日目用・第2日目用)
11. 安全管理責任者車両運行スケジュール管理表(※10月26日(金)までに提出)
12. チーム参加料納付書

※実施要項【チーム編成について】5.(…当該チームの監督同士が認めた場合に限る。)により確定した競技者については、そのチーム監督が9月14日(金)までに、長野陸協事務局へ Fax か E-mail で連絡すること。

【10月9日(火)までに提出する書類】

書類	提出先
1. 参加申込書	長野陸協エントリーセンター
3. ふるさと制度申請書	〃
9. 男女10・20・30・40回及び女子5回出場競技者申請書	大会事務局(信毎)
12. チーム参加料納付書	長野陸協事務局に FAX(026-241-5155)

※参加申込書の提出方法…長野陸協公式ホームページ内からデータをダウンロードし、記入のうえ、送信する仕組みとなります。詳細につきましては、大会要項をご確認ください。

※中学生・高校生のエントリー後に、上位大会進出による競技者変更が発生した場合には、これまで同様、例外的に競技者変更を認めます(緊急事態による競技者変更とは別枠)。また、競技者氏名、必要書類の提出は、11月16日(金)のチーム受付時にまとめてすることができるようになりました。

【11月16日(金) チーム受付時に提出(信毎2階講堂 15:00~15:30)】

書類	備考
2. 第1日目オーダー提出用紙	プリントしたもの
4. 競技者変更届(変更の有無に関わらず)	〃、「診断書」などの変更理由を証明するもの
6. 誓約書(大学生・一般用)	〃、人数分
7. 中高生の学校長への上場承認願の写し	〃、人数分
8. 中高生の保護者承諾書	〃、人数分
10. 競技者・付添者輸送バスチェックリスト	〃 第1日目用、第2日目用

<大会事務局> 〒380-8546 長野市南県町 657 信濃毎日新聞社事業部内(担当/百瀬)
TEL026-236-3399 FAX026-236-3370 E-mail: t-momose@shinmai.co.jp

第67回県縦断駅伝競走大会 参加申込・オーダー提出 スケジュール

2018年9月1日現在

月	日	長野陸上競技協会・事務局(信毎)	出場チーム
9月	1日(土)	長野陸協ホームページに、参加申込書類および大会要項・注意事項一式をUP	
	14日(金)		実施要項【チーム編成について】5.(…当該チームの監督同士が認めた場合に限る。)により確定した競技者については、そのチーム監督が長野陸協事務局へFaxかE-mailで連絡。
10月	9日(火)		参加申込締切⇒長野陸協ホームページ内エントリーセンターから「参加申込書」データを送信。参加料納付締切(1チーム5万円)。
	10日(水)～15日(月)	長野陸協:参加資格確認、事務局:プログラム制作	
	26日(金)		安全管理責任者は「チーム車両」運行計画を大会事務局(信毎事業部)へ提出。
11月	5日(月)予定	審判主任会議	
	16日(金)		15:00～15:30 チーム受付・「1日目オーダー」提出・「競技者変更届」提出(必要があれば)
			16:00～ 監督会議① ⇒1日目オーダー表配布・確認
			17:00～ 開会式
			18:00～ 審判会議
	17日(土)		7:00～7:30 「オーダー変更届」提出(必要があれば)
			7:30～ 審判会議
			8:00～ 監督会議②
			8:30 1日目競技スタート
			15:00～15:30 「2日目オーダー」提出
			15:30～ 審判会議
	18日(日)		16:00～ 監督会議③⇒2日目オーダー表配布・確認
		6:30～7:00 「オーダー変更届」提出(必要があれば)	
		7:00～ 審判会議	
		7:30～ 監督会議④	
		8:00 2日目競技スタート	
		13:20～ 審判会議	
		13:55～ 監督会議⑤	
	14:15～ 閉会式		

2018年9月1日

第67回長野県縦断駅伝競走大会

出場チーム各位

「県中学駅伝(11月3日)」及び「県高校駅伝(11月4日)」
に伴う競技者変更について

中高生の上位大会への進出に伴う競技者変更を認めます。

11月16日(金)15:00～15:30に信毎長野本社2階講堂での「チーム受付」の際に、所定の「競技者変更届」を提出してください。

なお、印刷の都合上、大会プログラム等には、変更者は掲載されません(10月9日(火)提出の「参加申込書」が掲載されます)。

予めご了承ください。

大会事務局

2018年9月1日

第67回長野県縦断駅伝

「安全管理責任者」の設置（再確認）

自チームのすべての「チーム車両」の運行経路・スケジュール等を把握・監督し、安全対策、渋滞緩和に努めること。

また、その運行計画を別紙に記入のうえ、**10月26日(金)までに**大会事務局（信毎事業部）に提出すること。

「その他関係車両（応援車両）」に対しても、規則順守（レース帯への進入禁止、交通ルール・マナーの順守、私有地等への迷惑駐車防止）を徹底するように監督すること。

【車両名称（区分）の再確認】

- ①「大会運営車両」…大会運営、競技運営に必要な車両
 - A)「レース帯車両」…先導白バイ、警察車両、審判長車、本部車、報道車、報道バイク
競技運営管理車（従来の移動監察車）、
救急車、最終車
 - B)「レース外車両」…広報車、設置車、先行車、技術総務車、
荷物運搬車、回収車、収容バス、撤収車
- ②「チーム車両」…競技者輸送車両⇒できるだけ台数を減らすこと
- ③「その他関係車両」…応援車両（競技者の保護者や関係者等）
⇒できるだけ台数を減らすこと

【「レース帯」の再確認】

先導白バイ～最終車の間。

この間には「チーム車両」（上記②）および「その他関係車両」（上記③）の進入は一切認めない。

以上

<荷物輸送・選手輸送についての解説>

【荷物輸送】

A 荷物＝ バッグなど大型の荷物。先頭競技者到着予想時刻の15分前までに荷物を中継線付近の「発荷物」看板表示のある場所にこの審判員（荷物係）に提出。→「荷物運搬車」（信毎）が運搬、次の中継点に届ける。

※A荷物については今まで通り全区間において荷物運搬車にて運搬する。荷物運搬車はレース帯より前を運行する。その競技者がレースを終え、次の中継点に到達した時点ではすでにそのA荷物も到着しているので本人が荷物係から受け取る。

B 荷物＝競技直前まで身に付けていた小物類。一旦荷物係に提出するが、前区間の同チーム走者が受け取り、管理。

※B荷物については一旦荷物係に提出された後は各チームの管理となる。提出されたB荷物はその中継点に到達した前の区間の競技者が受け取り、以降管理する。自区間のレース終了後すぐに必要となるものはA荷物に入れておくよう注意のこと。

【選手輸送】

<例外区間・付添の動き>

女子区間・男子中学生区間、女子中学生区間については付添1名の選手収容バスへの乗車を認める。付添はその区間の選手のB荷物も管理すること。

■ 第1日目第3区（男子中学生区間・千曲八幡→若宮）における付添の動き

付添は、千曲八幡中継点に3区男子中学生選手とともに配置し、3区男子中学生選手のB荷物を預かる。武水別神社前に配車された「4号車」に乗車し、レース後、若宮中継点に向け移動、若宮中継点にてレースを終えた3区男子中学生選手（A荷物はこの時すでに受け取っている）と合流、若宮中継点の荷物係から4区選手のB荷物を受け取り、同バスで秋和中継点に向かう。秋和中継点でレースを終えた4区選手も同バスに乗り、そのまま岡谷決勝点に向かう。（合計45名乗車）

■ 第1日目第5区（女子区間・秋和→上田）における付添の動き

付添は、秋和中継点に5区女子選手とともに配置し、5区女子選手のB荷物を預かる。清浄園駐車場に配車された「女子車」に乗車し、レース帯の後ろを上田中継点に向け移動、上田中継点にてレースを終えた5区女子選手（A荷物はこの時すでに受け取っている）と合流、上田中継点の荷物係から6区選手のB荷物を受け取り、そのまま同バスにて岡谷決勝点に向かう。（合計30名乗車）

■ 第2日目第13区（女子中学生区間・松本→庄内）における付添の動き

付添は、松本出発点に13区女子中学生選手とともに配置し、13区女子選手のB荷物を預かる。松本市役所前駐車場に配車された「女子車B」に乗車し、レース帯の後ろを庄内中継点に向け移動、庄内中継点にてレースを終えた13区女子中学生選手（A荷物はこの時すでに受け取っている）と合流、13区女子中学生選手も同バスに乗り、そのまま飯田決勝点に向かう。（合計30名乗車）

■ 第2日目第19区（女子区間・宮田→駒ヶ根）における付添の動き

付添は、宮田中継点に19区女子選手とともに配置し、19区女子選手のB荷物を預かる。宮田村役場駐車場に配車された「女子車A」に乗車し、レース帯の後ろを駒ヶ根中継点に向け移動、駒ヶ根中継点にてレースを終えた19区女子選手（A荷物はこの時すでに受け取っている）と合流、19区女子選手も同バスに乗り、そのまま飯田決勝点に向かう。なお、次の20区男子中学生選手のB荷物は20区男子中学生選手付添の管理となる。（合計30名乗車）

■ 第2日目第20区（男子中学生区間・駒ヶ根→福岡）における付添の動き

付添は、駒ヶ根中継点に20区男子中学生選手とともに配置し、20区男子中学生選手のB荷物を預かる。駒ヶ根駅前ロータリーに配車された「3号車」に乗車し、レース帯の後ろを福岡中継点に向け移動、福岡中継点にてレースを終えた20区男子中学生選手（A荷物はこの時すでに受け取っている）と合流、福岡中継点の荷物係から21区選手のB荷物を受け取り、同バスで伊那大島中継点に向かう。伊那大島中継点でレースを終えた21区選手を乗せ、かつ22区選手のB荷物を積み込み、そのまま飯田決勝点に向かう。（合計45名乗車）

<参考>

- フィニッシュ地点に着くまで自分のB荷物を受け取れない区間・・・6区・9区・12区・17区・22区
- 次区間の自チーム選手のB荷物を受け取らなくていい区間・・・2区・4区・18区・19区

第 67 回長野県縦断駅伝競走大会

特にご注意をお願いしたいこと(2018年9月1日現在)

(1) 【ご協力いただいている沿道住民・関係団体の皆様に感謝の念を】

この大会が長きに渡り開催できているのは、交通規制によるご不便に対して快くご理解・ご協力くださっている県民の皆様のおかげです。また、長野県警察様(約550人)、交通安全協会様(約1,000人)、ボランティアの皆様はじめ非常に多くの方々のご尽力で大会が運営されています。チーム関係者、審判、スタッフ、関係者一同が改めてこのことを肝に銘じてください。

(2) 【競技者の左端(1m以内)走行の厳守】…安全を確保し、事故を防ぐために、選手には左端走行の意識をチーム内で徹底させてください。特に中継所で前区間選手がセンターライン方向に倒れ込まないように注意してください。

(3) 【競技者休憩所利用時間の厳守】…毎年、多くの皆様のご好意で休憩所施設をお借りしています。原則として先頭通過予定時刻の2時間前から各施設は利用させていただくことができます(1日目・2日目ともに出発点は1時間半前)。それ以上早い時間からは先方に大変なご迷惑となりますので、必ず時間を厳守してください。(プログラムP8参照)また、選手が出したゴミは必ず持ち帰ってください。

(4) 【提出書類の締め切りの順守】…提出書類が多岐に渡りますが、大会準備・運営の円滑化のため、締め切りの順守に十分にご協力をお願い致します。

(5) 【車両運行ルールの徹底】…毎年問題となっている応援車のレース帯への流入、停車・追い越しを繰り返しての応援をはじめ、迷惑となる行為の防止を徹底してください。競技者輸送車両や応援車両等はレース帯への進入を一切禁止します。競技者輸送車両や応援車両等は「長野県縦断駅伝コース図(関係車両規制図)」の指示に従い運行することを徹底してください。

(6) 【道路交通法の遵守】…運転中の携帯電話の使用は法令上禁止されています。また、後部座席のシートベルト着用も義務付けられています。事故防止のためにも必ず守ってください。

(7) 【私有地への駐車禁止】…特に中継点付近の私有地への駐車が目立ちます。地域の皆様の応援あってこそこの大会ですので、無断駐車は絶対にしないでください。

(8) 【競技者・付添者輸送バスの利用】…原則として、競技者・付添者は必ず輸送バスを利用するようにしてください。

(9) 【マイクロバスの使用の禁止】…過去には、選手を送迎するためにマイクロバスを使用するチームがありました。中継点によっては道路幅が狭く、交通渋滞や事故を起こす原因ともなりかねません。

(10) 【丸子中継点、庄内中継点へのチーム関係車両の駐車禁止】…丸子中継点(三反田公民館前)および庄内中継点(シンケン前)には、駐車スペースがございません。チーム関係者の車両は絶対に駐車しないでください。

以上

選手走行位置

選手は左側車線の左端(1m以内)を必ず走行すること (路側帯がない場合も同様)

—安全に大会を運営し、今後も県縦駅伝を継続させていくために—

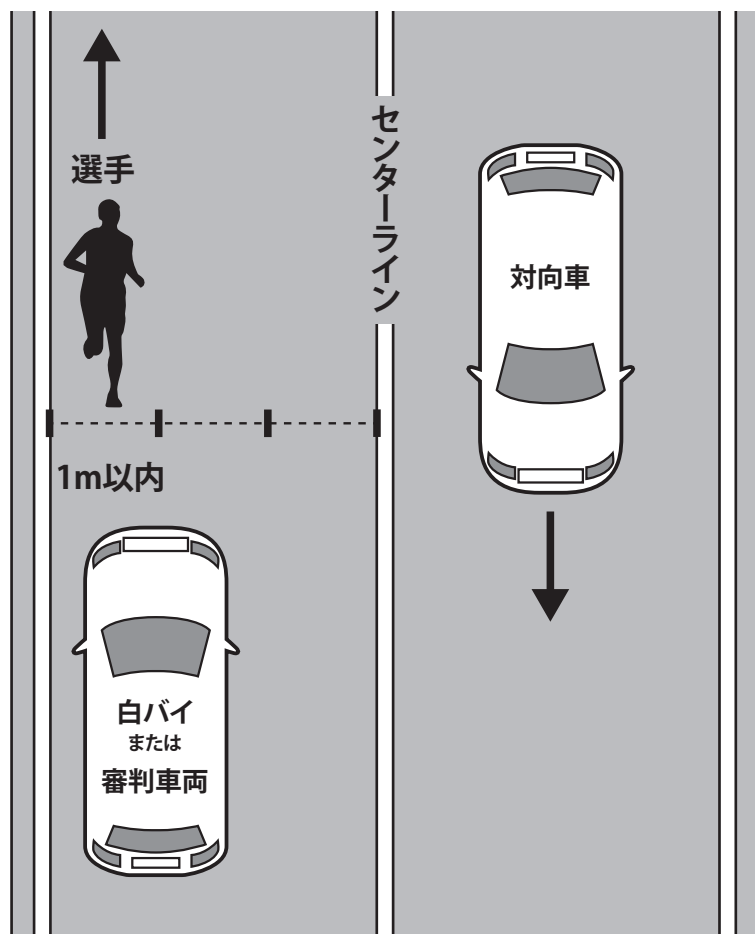
<県縦駅伝の交通規制方法>

「長野マラソン」や「ひろしま駅伝」のように、道路の両車線を完全に交通規制（一般車両が入れない状況）することはできません。また、選手を守ってくださる白バイ隊や審判車両も選手一人一人に付くことはできません（繰り上げスタートの際も同様です）。

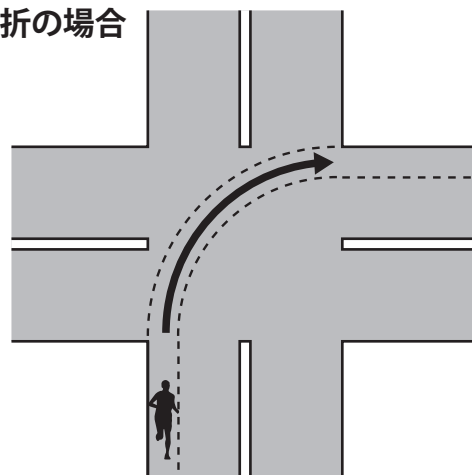
さらに、競技中に、後続の一般車両の渋滞を緩和するために、「レース帯」（先導白バイ～選手～最終車の間）に一般車両を入れざるを得ない場合もあります。

⇒それゆえに、選手自らが左端走行（1m以内）を厳守し、安全確保をしなければなりません。

※一般的な片側一車線道路(全幅約6m)



右折の場合



左折の場合

